

第3回サポーターズミーティングの開催結果について

1. 日時：令和3年1月14日(木) 19時00分～20時30分
2. 場所：Web会議による開催
3. 議題：県庁舎跡地における先行的な賑わいづくりに向けた「プレ実証実験」の実施について
4. 出席者：

名称	所属等
荒木 ゆい	江戸町自治会青年部 部長
岩本 諭	斜面地・空き家活用団体つくる 代表
江口 忠宏	DEJIMA BASE 代表
高浪 高彰	長崎雑貨 たてまつる
森 恭平	江戸町自治会青年部 役員
安元 哲男	アートケイク代表
山田 早織	株式会社イーズワークス
吉持 和美	合同会社 wakuwa プランニング プロジェクトコンダクター
渡辺 敦子	合同会社 wakuwa プランニング プロジェクトコンダクター
長崎市	長崎市土木部

5. 開催結果（主な意見等）

県（県庁舎跡地活用室）から、県庁舎跡地を中心とするエリアに少しでも賑わいを生み出すため、使用できるところから先行的に活用し、賑わいづくりに取り組み、検証効果を今後実施予定のワークショップ・実証実験等に活かすことなどを目的に、まずは自分達で実施可能なイベント等を実施し、課題の抽出・仮説・検証・結果の共有等を行う「プレ実証実験」の実施等について説明。

【概要】

先行的な賑わいづくりに取り組むにあたっては、先ずこの地を知ってもらう（関心を持ってもらう）ことから始めるべきであることや、新たにイベント等を企画するよりも既存の活動とうまく連携して取り組む方が効果的であることなど、今後の利活用検討における貴重なご意見やご助言をいただいた。また、QRコードやインスタグラムの活用など、効果的情報発信の手法等についてご意見やご提案をいただいた。

情報発信について

趣旨は非常に分かるし、実施することに賛成だが、どういうアイデアを出すかが大事。第二別館跡や江戸町公園などは県民市民にあまり知られていないので、知ってもらうにはどうしたらいいかという視点でアイデアを出した方がいい。

- まずは情報発信が大事であり、何を掲示するのか、何を発信するのかということをしっかり考えた方がいい。例えば、かつてここに県庁があった時に、どんな暮らしをしていたのかとか、商店街がどうであったのかとか分かるような写真や資料があるといいのではないかな。
- 戦国時代、江戸時代、明治、大正、昭和、平成、令和の時代ごとにモニターなどで長崎の歴史を階層的にビジュアル的に表現してはどうか。そのうち令和の部分は、インスタグラムなどにより個人個人が残したいと思うような建物や食べ物などを写真にして投稿できるようにしてはどうか。
- 江戸町界隈のこれいいなと思う写真を各人が撮って、色んな人がインスタグラムなどに投稿するというやり方はどうだろうか。
- 埋蔵文化財調査で出てきた石垣などの説明があるといいのではないかな。
- 仮囲いに大きいQRコードを掲示し、それにインスタグラムやウェブサ

イトの URL を張り、コンテンツを色々変えながら、そこをのぞくと何かが見えるみたいなことから始めてみてもいいのではないかな。目立つサイズ感で何かを仕組むというのをやった方がいい。

- このやり方であれば、新たに何かを更新する必要なく情報発信していけるし、「# 県庁跡地」といったハッシュタグをつけてもらって勝手に広がっていくような仕組みの方がよいと思う。インスタグラムのページは見やすいし、どんどんコンテンツが増えていく方が面白いと思う。

既存の活動との連携について

- 既に江戸町やその周辺で活動をしている方々など、今後連携できそうな活動をピックアップして、サポーターズミーティングとして応援していくという形はどうか。
- 既存の取り組みが行われているような場所で、そこでちょっとした実験的なものやってみて、その中で出てきたアイデアをその次のタイミングでさらに具体化していくような形の方が無理なく実施できると考える。
- 例えば、江戸町自治会の清掃活動の輪が広がってきているので、そういったところを活用する(連携する)みたいなことも考えられると思うし、江戸町の清掃が終わった後に、県から1時間くらい跡地の歴史の説明を現地でやるなど、毎回テーマを変えつつ、定期的にそういう機会があると情報発信にも寄与するのではないかな。
- 長崎市の若者会議で「ソト活」を推進したりとかしている人たちとコラボできると面白いのではないかな。

以 上